

大学院心理学研究科 主要科目のねらい、特色、内容

【博士後期課程】

発達臨床心理学研究

【ねらい】

この授業では、発達臨床心理学分野における博士論文の作成に必要な知識と基礎的能力を高めることを目的とする。博士論文を作成するために必要とされる力を身につけることができる。

【特色】

博士論文の作成に必要な基礎的能力を受講者のペースで身につけさせる。

【内容】

発達臨床心理学分野における博士論文の作成に必要な知識と基礎的能力として、研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究計画の立案、調査や実験の実施法、データ解析、論文の執筆などの方法論について指導する。

障害者心理学研究

【ねらい】

この授業では、障害者心理学分野における博士論文の作成に必要な知識と基礎的能力を高めることを目的とする。博士論文を作成するために必要とされる力を身につけることができる。

【特色】

国内外の障害者心理学分野の研究成果、実践に触れて、博士論文の作成に必要な基礎的能力を受講者のペースで身につけさせる。

【内容】

障害のある人と障害のない人の心理臨床に関して、国内外の専門誌に掲載された論文を検索・収集・精読し、障害の有無による共通性と特殊性についての検討を行う。その際、実際の事例についても検討を加え、実践的な技量を高めていくよう指導する。

学校臨床心理学研究

【ねらい】

この授業では、学校臨床心理学分野における博士論文の作成に必要な知識と基礎的能力を高めることを目的とする。博士論文を作成するために必要とされる力を身につけることができる。

【特色】

海外の学校臨床分野の研究成果にも触れて、博士論文の作成に必要な基礎的能力を受講者のペースで身につけさせる。

【内容】

学校臨床心理学分野における問題と支援方法（アセスメントを含む）について研究の動向を整理し、研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究計画の立案、調査の実施法、データ解析、論文の執筆などの方法論について指導する。さらに、学校臨床の専門家に求められる知識、技能を高める。